

県政NEWS

Innovation

新しい発想・技術・価値観で未来を創る。

【編集発行】武田翔 政務活動事務所 〒222-0011 横浜市港北区菊名1-6-11 平田ビル3階
TEL 045-947-2712 FAX 045-947-2713
E-mail : info@shotakeda.com  Facebook 武田翔

神奈川県議会議員(港北区選出)

武田 翔

Takeda Sho

プロフィール
昭和56年生まれ
神奈川県議会議員(1期)
米国・カリフォルニア州大を卒業後
参議院公設秘書を経て
平成27年神奈川県議会議員選挙
横浜市港北区に初当選。
一児の父でもあり
子育てと教育政策に
力を注いでいる。

「ともに生きる社会」 かながわ憲章委員としての新たな決意

今年度、わたくし武田翔は建設企業常任委員会、そして「ともに生きる社会かながわ憲章」推進特別委員会の委員に選任されました。

建設企業常任委員会では、都市計画、道路、河川、土木、住宅及び建築、水道事業、電気事業、公営企業資金等運用事業など県土整備局や企業庁に係わる審査を担当いたします。

また、「ともに生きる社会かながわ憲章」推進特別委員会は、共生社会の実現にむけて、インクルーシブ教育の推進、障がい者の生活支援、就労・雇用対策等について審査を行います。

県議会議員の1期目として総決算となる2018年、皆様の更なるご期待に応えるためにも汗を流し、結果を出してまいります。



平成28年7月26日、障害者支援施設である県立「津久井やまゆり園」において19人が死亡し、27人が負傷するという、大変痛ましい事件が発生しました。

この事件は、障がい者に対する偏見や差別的思考から引き起こされたと伝えられ、障がい者やそのご家族のみならず、多くの方々に、言いようもない衝撃と不安を与えました。

私たちは、これまでも「ともに生きる社会かながわ」の実現をめざしてきました。

そうした中でこのような事件が発生したことは、大きな悲しみであり、強い怒りを感じています。

このような事件が二度と繰り返されないよう、私たちはこの悲しみを力に、断固とした決意をもって、ともに生きる社会の実現をめざし、ここに「ともに生きる社会かながわ憲章」を定めます。

ともに生きる社会 かながわ憲章

- 一 私たちは、あたたかい心をもって、すべての人のいのちを大切にします
- 一 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します
- 一 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- 一 私たちは、この憲章の実現に向けて、県民総ぐるみで取り組みます

題字「ともに生きる」
ダウン症の女流書家 金澤翔子

本県の取り組みや金澤翔子さんの席上揮毫の動画などは、
こちらから **「ともに生きる社会かながわ」検索**
この憲章は神奈川県と神奈川県議会が共同して策定したものです。

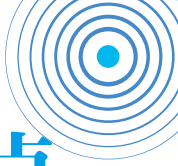


求人
募集

武田翔 政務活動事務所では
政治活動を支えてくださるスタッフを募集しています

【資格】要普通免許、学歴・経験不問
【待遇】委細面談 ※試用期間あり
【勤務地】横浜市菊名

お問合せは、上部記載の「武田翔
政務活動事務所」まで。電話・
メールで受付いたします。



幼児虐待死の事件に想う

虐待死した船戸結愛ちゃん(5)が残したメモ



ママ もうパパとママにいわれなくても
しっかりとじぶんから きょうよりかもっと
あしたはできるようにするから
もうおねがいゆるして ゆるしてください
おねがいします
ほんとうにもうおなじことはしません
ゆるして
きのうぜんぜんできてなかったこと
これまでまいにちやってきたことをなす
これまでどれだけあほみたいにあそんだか
あそぶってあほみたいだからやめる
もうぜったいぜったいやらないからね
ぜったいやくそくします
もう あしたはぜったいやるんだとおもって
いっしょうけんめいやる やるぞ

画像出典:PrimeNews Evening

東京都・目黒区のアパートで5歳の船戸結愛(ゆあ)ちゃんが亡くなった事件で、保護責任者遺棄致死の疑いで両親が逮捕されました。結愛ちゃんは今年の春小学校に入校予定でしたが、「**もうおねがい ゆるして ゆるしてください おねがいします**」というメッセージを書き遺し、その命の灯が消えてしまったことに、政治に携わる一人として、やり場のない無念を感じています。

事件に呼応する形で、東京都では小池知事が、そして政府では菅官房長官の呼びかけで児童虐待問題への取り組みを表明されました。いかにして子どもたちの安心と安全、そして笑顔を守るか。世間では児童相談所と警察の情報共有に関する要望論が巻き起こっています。

皆さまもご存じのとおり、警察組織は各都道府県庁と両輪の関係にあります。神奈川県議会としても、情報共有に留まらず、何を為すべきか、為さねばならないか。子育て世代の一員として、私も全力で取り組んで参ります。

新幹線での凶行と、勇気ある会社員への敬意

県内を走行中の東海道新幹線「のぞみ」の車内で乗客3人が殺傷された事件は、新横浜駅が身近な私にとっても大きな衝撃でした。犯人の無責任な振る舞いに憤りを感じる一方で、勇敢にも犯人に立ち向かった会社員の梅田耕太郎さんには、深い悲しみと同時に尊敬の念が湧き起こりました。

梅田さんのご両親は、代理人を通じて次のような言葉を出されました。「いつもどおり『ただいま』と笑顔で帰って来そうな、そんな気がしてしまいます」。

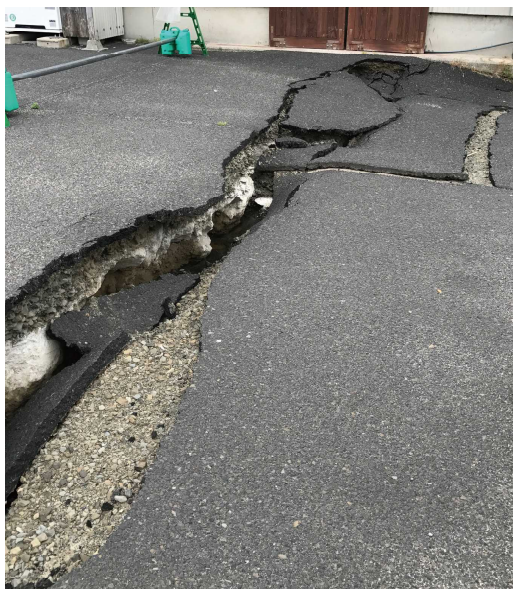
そして「**目の前の危機に手を差しのべずにいられなかった息子の勇気に、我が子ながら心を激しく揺さぶられております**」と結ばれました。

命がけで犯人に立ち向かった梅田さんの勇気に報いるためにも、交通網の安全対策には神奈川県として万全を期すべく取り組んでまいります。



画像出典:神奈川新聞カナロコ

大阪での地震発生について



6月18日に大阪北部で発生いたしました地震により亡くなられた方々にご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様、ならびにそのご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

2か月前の4月9日にも、島根県大田市で今回の大阪地震と同規模震度の地震が発生しました。島根には自民党の県議団有志で慰問視察に訪れたばかりでしたので、視察当時の記憶も想起されます。

今回の大阪地震とあわせて改めて感じたのは、昭和56年6月1日に建築基準法で定められた**耐震基準**です。いずれの地震でも倒壊した建物やライフラインは、耐震基準が設けられる以前のものや、あるいは老朽化が進んだところに被害が目立ちました。神奈川県においても、地震発生時に被害が予想される建造物や施設には十分な注意が必要です。守るべきはしっかりと守り、まさかの時に備える。神奈川県議会でも、震災対策には活発な議論を重ねて参ります。

島根県視察時の一枚
撮影:武田翔